



## 学力・学習状況調査（国・県）が実施されました ～「読解力（読む力）、思考力（考える力）」を鍛えましょう～

①「ことねさんのクラスは14人で、今1列にならんでいます。ことねさんの前に7人います。ことねさんの後ろには何人いますか。」

「 $14 - 7$ 」という引き算ができてこの問題は解けません。文章を読む力、文章で描かれる状況をイメージし、どの数字を使ってどう演算するかを考えないといけません。これからは、このような読解力や、知識を応用する思考力が重要になります。

そこで、ここでは「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」の著者・新井紀子教授が勧める「家庭できる読解力を鍛える方法」を紹介します。参考にしてください。

### 1) NHKの大河ドラマ、連続テレビ小説などを楽しむ

・時代設定が現代ではないので歴史用語や知識が増える。

### 2) ラジオでニュースを聞く

・テレビのように視覚情報が入らない分、言語や数字に敏感になる。新井さん曰く「耳が鋭くなるので授業の聞き方も変わってくるでしょう」

### 3) おねだりはプレゼンの場に

・親子の会話の中で説明させる。新井さんは子どもが「何か買ってほしい」と言ってきたら、納得できる理由を言うまで買い与えなかったそうです。『「なぜ買わないといけないの?」』『みんな持っているという“みんな”とは誰?』のようにプレゼンさせていました」

### 4) 日常会話は単語で済ませない

・新井さんは、子どもが「コップ」と言ってきたら、「牛乳を飲みたいからコップを取ってください」という文章で言うまで渡さないほど徹底していたそうです。

※ 高校入試の面接のためにも、日常会話の中でも文章できちんと説明する習慣を身につけておきましょう。

## 地域の方からの一言「一中の生徒にとっても感謝しています。」



先日、40代の男性から学校に電話がありました。

「私は西阿知に出張に来たのですが、体調が悪くなり、病院へ行こうとしましたが動けなくなり、道路わきで困り果てていました。そんな私に、一中の生徒が優しく声をかけてくれました。そして近くの病院まで道案内をしてくれました。とても助かりました。ありがとうございました。」

この話を聞いて私はとてもうれしくなりました。当たり前のように人助けのできる一中の生徒を誇りに思いました。

(写真は地域の方からいただいた花です。ありがとうございました)